

TOKYO
LEADING
THE WORLD
≒ BUSINESS



世界一ビジネスのしやすい都市 東京の実現に向けて



東京都は、国家戦略特区制度等の活用による国際ビジネス拠点の形成や外国企業誘致、エコシステムの形成促進によるイノベーションの創出、「国際金融都市・東京」構想に基づく取組、自動運転分野等における最先端技術を活用した新事業の創出などに取り組んでいます。

世界の中で輝き続ける国際経済都市の実現

国際経済都市・東京の実現のため、優れた技術等を持つ外国企業の誘致や、イノベーション創出に向けた取組を推進しています。

優れた技術を有する外国企業の誘致

●外国企業誘致の取組

●第4次産業革命関連外国企業・金融系外国企業の誘致

2017年度から2020年度末までの4年間で、第四次産業革命関連企業40社、金融系（フィンテック、資産運用業）企業50社を含む400社以上の外国企業を誘致することを目標にしています。

●外国企業誘致のための海外窓口「Access to Tokyo」

東京進出を検討する外国企業や、そうした外国企業の海外進出を支援する現地のハブ組織等に対し、東京進出に資する様々な情報を提供するとともに、問合せや相談に対応する東京都の海外窓口です。現在、ロンドン、パリ、サンフランシスコ、シンガポールの4か所に設置しています。

●外国企業の東京進出を支援する各種サービス

●東京開業ワンストップセンター

法人設立及び事業開始時に必要な定款認証、登記、税務、年金・社会保険、入国管理等の各種手続きにスピーディーに対応します。赤坂窓口の他、渋谷・丸の内2か所にサテライトセンターを設けています。

●ビジネスコンシェルジュ東京

英語の堪能なスタッフが、日本の商習慣等ビジネス全般にわたる相談や、法人設立から販路開拓までに必要となる諸手続きの相談等に対応し、東京でのビジネス展開をサポートします。さらに、外国企業の従業員やその家族に対し、日常生活全般に係る情報を多言語で提供しています。

赤坂と丸の内の2か所に窓口を設置しています。その他、金融系外国企業の東京進出に際し、必要な許認可等の続きを円滑に行えるよう、金融法令等に精通した相談員が英語で相談に応じる「金融ワンストップ支援サービス」、外国人起業家等を対象に、創業期に活用できる資金調達手段に係る様々な問合せに対応し、必要となる手続きを支援する「外国人起業家のための資金調達サポート」といったサービスも提供しています。相談はすべて無料です。



◀東京開業ワンストップセンタービジネスコンシェルジュ東京(赤坂)

中小企業診断士による無料相談



イノベーション創出に向けた取組

●エコシステムの形成

ベンチャー企業や大企業、投資家、研究機関など、産学官の様々なプレイヤーが集積又は連携することで共存・共栄し、先端産業の育成や経済成長の好循環を生み出す「イノベーション・エコシステム」を東京に形成するため、都内数カ所のエリアを認定し、エコシステム形成に向けた支援を実施しています。

●創薬系オープンイノベーション支援事業

製薬企業、支援機関、投資家等が集積する東京の強みを活かし、創薬・医療分野におけるオープンイノベーションの促進を支援します。

●先端事業普及モデル創出事業 (King Salmon Project)

起業から海外展開等による事業拡大までの成功モデルを創出・展開することで、後続の起業家を輩出する「起業のサイクル」を確立し、東京の成長と社会課題の解決の両立を目指します。

特区の推進

規制改革を総合的かつ集中的に推進し、国際ビジネス交流拠点の形成等に取り組みます。

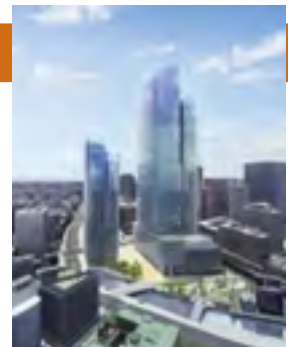
都市計画法等の特例の活用による国際ビジネス交流拠点の形成

都市計画の決定をワンストップ化し、手続のスピードアップ化を実現。東京駅周辺、虎ノ門・六本木地区、品川駅周辺等における国際ビジネス交流拠点等の形成を推進しています。

エリアマネジメントに係る道交法の特例の活用による賑わいの創出

歩道の道路空間を活用したイベントの開催やオープンカフェ等の設置を実現し、都市観光の推進等に取り組みます。

東京ミチテラス2019▶
(東京駅前・行幸通り)



▲都市計画法等の特例・常盤橋プロジェクト(東京駅前)

「国際金融都市・東京」の実現

東京都は、世界に冠たる国際金融都市・東京の実現を、成長戦略の柱の1つに位置付けており、2017年11月には、そのための具体的な取組の方向性を取りまとめた「国際金融都市・東京」構想を策定しました。国や民間事業者、海外の関係機関等との連携の下、構想に掲げた取組をスピード感を持って実施していきます。

「国際金融都市・東京」構想

● 構想の実現に向けた具体的取組

- ① 魅力的なビジネス面、生活面の環境整備
・ 英語対応を含めた行政手続等のビジネス面や医療・教育などの生活面の環境を整備
- ② 東京市場に参加するプレーヤーの育成
・ 資産運用業やフィンテックを中心に国内外の金融関係プレーヤーの東京市場参入を促進
・ 官民一体の海外プロモーション組織である「FinCity.Tokyo」の設立
- ③ 金融による社会的課題解決への貢献
・ 投資家保護の徹底や世界的に注目されつつあるESG投資の促進などにより、金融による社会的課題の解決に貢献

● 取組例「東京金融賞」

「国際金融都市・東京」構想を実現するための取組の一環として、都民及び都内企業のニーズや課題の解決に資する画期的な金融商品・サービスの開発・提供を行う国内外の金融事業者に加え、ESG投資の普及を实践する国内外の金融事業者を表彰することを通じ、都民の皆様の利便性向上と金融活性化の実現を目指します。
東京金融賞は、金融イノベーション部門とESG投資部門の2部門から構成され、金融イノベーション部門では、ビジネスマッチング等の支援プログラムを実施します。



先端テクノロジーの社会実装

日本経済の牽引役として、「稼ぐ力」を高めるとともに、持続可能な東京を実現するため、先端テクノロジーの社会実装を後押ししています。

Society 5.0の実現

東京の「稼ぐ力」の中核となるAIやビッグデータなどの第4次産業革命技術の社会実装を通じて、経済発展と社会的課題の解決を両立させる「Society 5.0」*の実現に向け、民間のイノベーションを後押ししながら、都独自の社会実装モデルの構築を目指しています。

*狩猟(1.0)、農耕(2.0)、工業(3.0)、情報(4.0)に続く、第4次産業革命技術を活用した新しい社会モデル

●Society5.0の先行実現 (スマート東京先行実施エリア・都心部)

データの蓄積、先端企業の集積等に競争力を有するエリアを指定し、地域に密着したリアルタイムデータ等を活用した複数分野のサービス展開を支援します。

●「次世代ウェルネスソリューション」構築支援事業

健康・医療分野のデータを活用した都民の健康増進に関する新たなサービス等について先行的なプロジェクトを支援し、データの活用モデルを構築します。

●SDGsを切り口としたキャッシュレス推進モデル事業

SDGsの推進に寄与した都民等に、キャッシュレス決済で利用可能なポイント等を付与することで、キャッシュレスを推進するモデル事業を実施します。

●MaaS(Mobility as a Service)の社会実装支援

移動の利便性向上や、移動ビッグデータによる新たなサービスの創出等を後押しするため、公共性・広域性・事業性を兼ね備えたMaaSの社会実装モデルとなる実証プロジェクトを支援します。

●次世代電力システムを通じた電力データ活用支援事業

次世代電力システムであるP2P取引プラットフォームの実証実験を支援するとともに、そこで得られる電力データの他分野における活用方法を検討します。

※その他、データ連携の結節点となる官民連携データプラットフォームの構築等を推進します。

実証実験の支援による先端テクノロジーのショーケース

東京2020大会の機を捉えて、官民が連携しながら、先端テクノロジーを国内外にPRしていきます。

●自動運転の社会実装に向けた取組

自動運転技術の実用化に向けて、「東京自動走行ワンストップセンター」を設置し、民間事業者等の都内公道での実証実験を支援しています。また、ビジネスモデル構築に向けた実証プロジェクトや、安全性等に関する都民の理解を促進するための試乗会等を実施しています。



▲自動運転車の試乗会

●ロボットの社会実装モデルの検討

東京の様々なフィールドにおいて、移動支援・警備・清掃・接客等の多様な用途に関し、サービス事業等の場において、人間と共存しつつサービスを提供するロボットの実証を実施することで、東京の課題解決に向けた新しい社会実装モデルを形成していきます。



▲羽田空港における警備・案内ロボットの实証実験

